

2つのコンゴとアンゴラ共和国 9日間

出発日	旅行代金
1月11日(土)	1,098,000円
3月22日(土)	1,098,000円
一人部屋利用追加料金	119,000円

- ◎利用予定航空会社：エチオピア航空。
- ◎添乗員：成田空港より全行程同行します。
- ◎食事：朝食6回・昼食5回・夕食6回(機内食除く)
- ◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
- ◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
- ◎旅券残存期間：アンゴラ入国時6カ月以上
- ◎旅券査証欄余白：6頁以上(見開き1カ所含)
- ◎最少催行人員：8名(最大15名)

◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆

- ◎成田空港使用料・保安サービス料：3,160円
- ◎国際観光旅客税：1,000円
- ◎燃油サーチャージ目安：44,770円(2024年8月現在)
- ◎査証代：コンゴ共和国(14,000円)、コンゴ民主共和国(11,000円)
- ◎査証取得代行手数料：7,150円(税込)
- ◎査証用写真：カラー2枚(4.5 x 3.5cm)

★査証取得の際、**黄熱病予防接種証明書(イエローカード)**が必要。

※査証代、必要書類や取得条件などは変更となる場合もございます。

◆コンゴ民主共和国◆

コンゴ川の南に位置する大きい方の国。アルジェリアに次いでアフリカ大陸で2番目に広い。1960年、ベルギーより独立。その後、国名をザイール共和国に改称したが、1997年に再びコンゴ民主共和国に。その後、近隣の国々も巻き込んだ内戦が始まる。この戦争でおよそ300万人が犠牲となるが、関わった各国の目当てはこの国の鉱物資源でした。2003年、国連の支援により和平合意と暫定政府が成立。コバルト、金、ダイヤモンドなど豊富な地下資源を有していますが、長年の内戦で国土は荒廃し、経済も発展途上の状態にあります。



カビラ前大統領廟



大河コンゴ川とキンシャサの町並み



- ※写真はすべてイメージです。
- ※観光客、及び日本人が訪れることが稀な国々です。その為、出入国の審査において、時間を要する場合がございます。
- ※場所柄、ホテルの設備は国際レベルには及ばず、簡素なものとなります。浴室はシャワーのみが基本となり、一斉にシャワーを使用すると一時的にお湯の出が悪くなります。
- ※土地柄、お一人様ご二席お使いいただける大型バスはございません。四輪駆動車などの小型車に分乗となる場合がございます。
- ※2日目、サブールの人々は、現地側の事情で手配出来ない場合がございます。その場合、代替観光にご案内します。
- ※3日目、マー村、青い湖の遠望は、現地事情により、ご案内出来ない場合がございます。その場合、代替観光にご案内いたします。
- ※5日目、カランドゥーラへは、スーツケースはお持ちいただけません。1泊分の身の回り品を入れるポストンバッグなどをご用意下さい。
- ※その他、裏面ののご案内も必ずご覧下さい。

都市名	スケジュール
1 東京	■夜、成田空港より、空路、ソウル寄港、アジアベバ乗り継ぎ、空路、 コンゴ共和国の首都ブラザビル へ。〈機中泊〉 日 日 月
2 ブラザビル	■午後、着後、 ブラザビル市内観光 。コンゴ川流域を探索したブラザ卿記念館○、前衛的なデザインの新聖堂○、町の象徴の高層ビル・ナベンバタワー△、コンゴ川の急流ポイントの遠望○など。また、身なりをお洒落に着飾ったコンゴの紳士たち『サブール』(※)にも出会います。〈 ブラザビル泊 〉 月 日 月 日
3 ブラザビル滞在	■終日、 ブラザビル郊外の観光 (※)。素朴な暮らしが息づくマー村△、密林に囲まれた神秘的な青の湖の遠望○、希少なローランドゴリラが保護されているゴリラ・サンクチュアリ○にご案内します。〈 ブラザビル泊 〉 日 月 日 月 日
4 ブラザビル キンシャサ ルアンダ	■午前、コンゴ川を船で渡り、 コンゴ民主共和国の首都キンシャサ の観光へ。カビラ前大統領廟○、教会○、マーケット○など。 ■午後、キンシャサより、空路、アンゴラの首都ルアンダに向かいます。 ★夜、イリヤ地区にある洒落たレストランにて ウェルカム・ディナー をお楽しみ下さい。〈 ルアンダ泊 〉 日 月 日 月 日
5 ルアンダ (パドラス・ネグラス) (カランドゥーラの滝) カランドゥーラ	■午前、カランドゥーラへ向かいます。途中、巨大な岩山が連なる奇景パドラス・ネグラス○にご案内します。 ■午後、ビクトリア・フォールズに次いでアフリカ第二位の落差を誇る カランドゥーラの滝 ○にご案内します。〈 カランドゥーラまたはマランジェ泊 〉 日 月 日 月 日
6 カランドゥーラ (ンダラタンド) ルアンダ	■午前、クワンザ・ノルテ州の州都 ンダラタンドの植物園 ○に立ち寄り、気根を地上に張り巡らせる珍しい巨木をご覧いただけます。 ■午後、バオバブの群生やのどかな田舎の風景を車窓にルアンダに戻ります。〈 ルアンダ泊 〉 日 月 日 月 日
7 ルアンダ滞在	■終日、 ルアンダ市内観光 にご案内します。内部は美しいアズレージョで飾られた軍事博物館になっているサン・ミゲル要塞○、巨大な塔のような独創的な外観の初代大統領ネトの霊廟○など。また、郊外の浸食された大地が創り出す絶景 ミラドゥーロ・デ・ルーア ○にもご案内します。〈 ルアンダ泊 〉 日 月 日 月 日
8 ルアンダ	■午後、空路、アジアベバ乗り継ぎ、ソウル寄港、帰国の途へ。〈機中泊〉 日 月 日 月 日
9 東京	■夜、成田空港着。入国、通関後、解散。

◆アンゴラ共和国◆

1975年ポルトガルより独立も、すぐに内戦が始まり1991年まで続きました。内戦終結後は、世界でも有数の埋蔵量を誇る石油、ダイヤモンドなどの地下資源をもとに、経済は急速に拡大。公用語はポルトガル語。近年、観光にも力を入れ始めており、首都ルアンダを抜けると、意外にも大自然の景勝地が多く存在します。壮大な滝、不思議な奇岩群など知られざるアンゴラの大絶景をお楽しみ下さい。また、現地の人々の素朴さもアフリカ随一といわれています。



カランドゥーラの滝 アフリカでビクトリア・フォールズに次いで第二の規模のカランドゥーラの滝。幅約400m、落差は約105mあり、アンゴラ人が世界に誇る滝です。



初代大統領ネトの霊廟ルアンダ



アフリカ屈指の大都市・首都ルアンダ



ミラドゥーロ・デ・ルーア



奇岩群パドラス・ネグラス

◆コンゴ共和国◆

2つのコンゴの内、コンゴ川の北に位置する小さい方の国。北部は人が住めないジャングル地帯で、人口は少なく南西部に集中しており、大半はブラザビルと大西洋岸のポアント・ノワールに住む。コンゴ王国の一部、ポルトガル領、フランス領赤道アフリカと変遷し、1960年フランスより独立。1970年からは社会主義体制となりましたが、1992年に崩壊、民主化への道を歩み始めました。サトウキビ、キャッサバなどの自給自足の農業国。近年、海底油田が開発され、輸出の85%を占めるようになっていきます。



着飾ったコンゴの紳士『サブール』



ゴリラ・サンクチュアリ



青の湖



聖アン教会

治安・渡航情報 2024年8月現在、外務省よりコンゴ民主共和国のキンシャサには「レベル2：不要不急の渡航は止めて下さい」という危険情報が発令されています。弊社といたしましては、現地手配会社と綿密に安全状況の確認を行った上、観光として訪れるには問題ないと判断し、募集させていただいております。しかしながら、急遽、情勢が悪化した場合、日程変更が余儀なくなる場合や、ツアーの実施自体を取り止める場合もあること、予めお含み下さい。

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービスします。

より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

- ◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の場合、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）
- ◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な時間帯、座席を確保できない時、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となった時の費用等、ご出発とご帰国時の国内における諸費用はお客様のご負担となります。

●航空機及び移動について

- ◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地で空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。又、日表の空路移動表示は出発地と最終目的地のみで示されており。
- ◇交通機関の遅延や、不通、スケジュール変更等により、目的地での滞在時間の短縮や、訪問地の変更、取り止め等が生じる場合は責任を負いかねますが、出来る限り当初の日程内容に従った旅行サービスをお客様がお受けいただけるよう努力致します。
- ◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合もございます。又、座席の混み具合等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならない場合もございます。
- ◇僻地や列車等での移動でポーターがない場所では、お客様にご協力をいただきご自身のお荷物をお運びいただくこともございます。

●利用航空機について（日本発着便）

- ◇エチオピア航空、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュ・エアラインズ、全日空、日本航空、タイ国際航空、シンガポール航空、マレーシア航空、キャセイ・パシフィック航空。

●日程中のマークの読み方

- ◎：朝食、Ⓜ：昼食、Ⓝ：夕食、Ⓜ：機内食、Ⓝ：食事なし
- ：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光

●時間帯のめやす

04:00	06:00	08:00	12:00	13:00	17:00	19:00	23:00
深夜	早朝	朝	午前	昼	午後	夕刻	夜

●ご宿泊について

- ◇一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて、一人部屋をご利用いただけます。**但し、ご出発日の40日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋→一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

- ◇シングル・ルーム（一人部屋）をご利用の場合、ヨーロッパスタイルのホテルでは、お部屋が手狭だったり浴室の設備がシャワーのみの場合がございます。
- ◇国によっては、二人部屋のお一人での使用も承ります（別途、追加料金が必要）が、地方都市や混雑状態などにより一人部屋になることもございます。また、ホテルによっては、ダブルベッドの場合もありますので、ご了承下さい。
- ◇三名様で一室をご利用の場合は、二人部屋に簡易ベッドを一つ入れた状態をご利用いただくため、お部屋が手狭となります。また、旅行代金の割引もございません。尚、旅行中の一部のホテルで簡易ベッドをご準備できないこともございます。その場合、お一人部屋（追加料金が必要です）をご利用いただくこととなります。
- ◇お部屋のベッドは、二名一室を利用基準に、ベッドが二台のツインルームをご用意しますが、地方都市や、古いヨーロッパスタイルのホテルでは、二つのベッドマットが離れていないジャーマン・ツインタイプのお部屋もございます。
- ◇バスルーム（浴室）は、地方都市では、お湯の出が悪かったり、シャワーのみのお部屋となります。
- ◇ホテルの部屋割りは、ホテル側で前もって割当てしており、グループやご家族旅行の場合でも、隣室や同階でのお部屋をご用意できないこともございます。又、伝統や格式あるヨーロッパのホテルでは、それなりの雰囲気や味わったばかりの反面、部屋により広さや調度品が異なったり、設備面で機能性を欠く場合もございます。

●ビジネス・クラス利用について

- ◇お席の混雑具合により料金が変動いたしますので、早めのお問い合わせ・お申込みをおすすめいたします。
- ◇ビジネス・クラス席をご利用いただける区間は、原則として日本と最初の到着地の長距離フライトです。短距離フライトがエコノミー・クラスとなる場合もございます。また旅行サービス内容（バス、ホテル、食事等）は、航空座席クラスにかかわらずグループと同一となります。

屋食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスを利用し、密状態を避けます。

●個人情報の取り扱いについて

- ◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いたお申込書に記載された個人の情報に関しましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関係する関係諸機関へ必要な範囲内で提供させていただきます。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

- ◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。

■ 外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

■ 厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

- 確定した航空会社の便名、ホテル名等は、ご出発日の前日迄にお渡しする確定書面でお知らせ致します。尚、お問い合わせ頂ければ手配状況についていつでもご説明申し上げます。

◇ご協力とお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただくためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の独占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ご旅行条件（要旨）ご旅行代金の内訳、お取消料などについて、旅行条件を十分にお読み下さい。

この旅行は株式会社旅のデザインルーム（以下当社）が企画・募集実施する企画旅行であり、参加されるお客様は当社と企画旅行契約を締結することになります。当社は旅行日程に従ってお客様が運送・宿泊機関等の旅行に関するサービス（以下旅行サービス）の提供を受けることができるように、手配することを引き受けます。この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書及び同法12条の5に定める契約書の一部となります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行条件書（全文）、ご出発前にお渡しする最終日程表（確定書面）によります。お申込の際は、旅行条件書（全文）をお受け取りの上、必ずご確認下さいようお願い申し上げます。

●旅行代金に含まれるもの

- ◇旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料料金、観光料金（バス料金・ガイド料金・入場料）、宿泊料金二名一室を基準）及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれないもの

- ◇上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。超過手荷物料金、お一人部屋を利用される場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプションツアーの料金、渡航手続関係諸費用（旅券印紙代、手続代行料金など）、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代・電報電話料金・ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

●お申し込みの際に

- ◇旅行中に特別な手配を必要とする方は、お申込みの時にその旨お申し出下さい。コースによっては、ご参加いただけない場合がございます。
- ◇特定の目的又は、特定の旅客層を対象とした旅行については、ご参加いただけない場合もございます。
- ◇他のお客様に迷惑を及ぼすおそれがあると当社が判断する方のお申込みはお断りすることとなります。

●旅行代金のお支払い

- ◇旅行代金は、出発日の21日前までにお支払い頂きます。

●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前までは不要） ●40日前から31日前までの取消し		旅行代金の10% （限度額5万円）
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ●30日前から21日前迄の取消し	30万円以上	50,000円
	15万円以上 30万円未満	30,000円
	15万円未満	20,000円
以下は全ての旅行に適用 ●20日前から3日前までの取消し		旅行代金の20%
●前々日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

- 「ピーク時」とは 12/20～1/7、4/27～5/6及び7/20～8/31をいいます。

- 取消料の対象なるお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加料金（一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

●相部屋の方のお取り消しに伴う一人部屋追加料金について

- ◇相部屋のお相手の方（配偶者・友人も含む）がお取消しされた場合、結果的にお一人でお部屋を利用することになる方は、**一人部屋利用追加代金のお支払いが必要となります。**尚、その後相部屋希望者の参加があった場合は必要ありません。

●旅行条件・旅行代金の基準

- ◇この旅行条件は2024年8月26日を基準としております。また旅行代金は2024年8月26日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しております。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるIIT運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があっても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧ください。又、当社がいはる場合でも旅行の再実施は致しません。

●旅程保証

- ◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

この条件に定めのない事項は当社旅行業約款によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。

マラリアについて

アフリカは、マラリアの発生地域と云われております。黄熱病と異なり出入国の条件にはなっていませんが旅行中は予防に努めましょう。

【マラリアとは】

ハマダラ蚊による吸血により人に感染する感染症です。ハマダラ蚊は、夕方から夜にかけて飛び始めます。マラリア危険地域では夕方以降の外出はなるべく避けましょう。

【マラリアの症状】

高熱、寒さ、咳、下痢、関節痛、頭痛、吐き気、全身の痲痺、昏睡など。放置すると死に至る可能性もあります。

【マラリアの潜伏期間】

マラリアは感染してから1週間から4週間で発病することが多いといわれています。

【マラリアの治療】

マラリアの治療で最も大切なのは早期発見、早期治療です。早期にきちんと治療すれば大抵のマラリアは数日以内に回復します。熱帯や亜熱帯への旅行後や旅行中に高熱がたら直ぐに医療機関を受診することが大切です。

【マラリアの予防法】

マラリアに対してはまだまだ有効な予防接種がありません。一方、抗マラリア薬を服用することで予防可能ですが、抗マラリア薬の効かない耐性マラリアや副作用の問題があります。厚労省は予防薬の服用はつきりと推奨しておらず、個人的な意思に任せるとしてあります。最も効果的な予防法は蚊に刺されないことです。夕方以降に外出する場合は、長袖長ズボン、虫除けスプレーを塗布しましょう。また、就寝時には蚊取り線香やペーパーを焚くことによります。

【最新情報】

厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/> にてご確認下さい。

★特殊・秘境地域に対するご理解とお願い★

当パンフレットで扱うアフリカの国々は、まさに秘境地域です。当社はこの地域を扱い始めて約二十年になり、現地手配会社とのスムーズな関係、添乗員からの報告やお客からのアンケートなど過去の経験をもとに、より快適なご旅行となるべく努力しております。しかしながら、ヨーロッパの国々とは違い、運送期間、宿泊設備やサービスなど、あらゆる面で何かしらの問題が発生するのが実情です。皆様のご協力、助け合いなしにはツアーが成立しないこと、ご理解下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

- ◇航空便が、天候や航空会社の都合により予定通り運航しない場合もございます。その場合、日程、観光内容、宿泊地が現地で変更になること、お含みおき下さい。約款上、日程変更に伴う追加費用、帰国が遅れた場合の延泊費用などは、ご参加者の皆様のご負担となります。予めご承知の上、お申し込み下さいますようお願い申し上げます。